

議員と気軽に語る会 実施報告書

開催日時	令和 7 年 5 月 1 2 日（月曜） 1 9 時 3 0 分～ 2 0 時 3 0 分
開催場所	牧野公民館
対象集落	東山・田野口・牧野
参加者数	15 人
出席議員	班長（藤原清勝） 司会（藤原清勝） 報告（門脇保文） （笹倉政芳）（門脇教蔵） （日原茂樹）（大山由郎）（廣畑幸子）（清水俊博）
意見発表	（門脇保文）（笹倉政芳）（門脇教蔵）
意見まとめ	・ 定数削減問題についてなぜ減らせないのか。 ・ 若い世代に議員になってもらうためには、土日の開催が必要ではないか。どのような事を審議、提案、採決等に至るのか傍聴する必要があるのではないか。 ・ 10 年後、消防団の人数減少問題に対して、集落の統廃合が必要ではないか。また、多可消防署の役割分担の見直しが必要である。 ・ 集落に於いても人口が減るために草刈り問題が起きている。他所から応援できるか。業者に頼むかの選択が必要である。 ・ 現状を維持するのではなく「ダウンサイズ」にあった事を考えていかなければならない時代に来ている。 ・ 中学校やあすみる等立派な建物ができて活用する子どもを増やす事も検討しなければならない。 ・ 年寄り向けの交通手段としてシニヤカーの補助制度が必要ではないか。 ・ 用水路、水門、木製の橋等が劣化しているので補助の拡充を。 ・ 土砂災害等のハザードマップの明記により土地の評価額が安く見積もられる。土地が売れない状況なので何か対策は出来ないか。 ・ 牧野地区は耕地整理が9割方できていないので、大型農機が入りにくい。専業農家の引き受けがしにくい。今後の農業をどう守っていくのか不安。 ・ 産業振興に町は本気で取り組んでいるのか。企業誘致に関しての説明やアドバイスを積極的にすること。 ・ ラベンダーパークが取り組むアロマ、認知症予防に効くと聞き各地域でラベンダー栽培がなされているが、現状は非常に厳しい。今後どう支援していくのか。 ・ 余暇村公園付近の町道の草刈りをしているが、車に被害が出ないか心

	配。損害賠償等はどうなるのか。 ・ 5 年前より村の作業などの日役が少なくなっている。若い人が出難い。作業ができなくなっている。何かいい方法がないのか考えて頂きたい。 ・ 10 年後を考える～少子高齢化。若い人がいない高齢化が進んでいる。村の行事は、土日になっている。若い人が出難い。土日以外で出来ないか。出役も毎回同じ顔触れである。40 歳代が少ない。元気な村づくりができない。元気になるためにはどうすればよいか。 ・ 子供会活動をしているが、町からの補助金が無い。子供会を解散する声も出ている。 ・ 少子高齢化の波が加速している。まずは認めて、今居られる方をどのようにして行くか考えるべきではないか。 ・ 高齢者の中には元気な人も多く居られる。力を借りればいいのではないか。出役された方には出役金等を払えばいい。多目的交付金を活用すれば。 ・ 先日「夢見る校長先生」の映画（ベルディ）で観た。多可町も参考にすべきである。一つの市町にとらわれず、通勤であれば例えば、丹波市・西脇市・加東市・加西市・多可町地域で一か所誘致すればいいのです。 ・ 先日、多可テレビで草刈り機の講習会が放映されました。女性の方も多くの人が参加されていた。今後も続けるべきである。 ・ 多可町には酒米のまちである。農業大学の生徒を招き、自習、体験して頂き若い人が参加していただければ町の PR にもなると思うが。
--	---

令和 7 年 5 月 20 日

多可町議会議長 日 原 茂 樹 様

報告者 門 脇 保 文

議員と気軽に語る会 実施報告書

開催日時	令和 7 年 5 月 13 日（火）／19 時 30 分 ～ 20 時 30 分
開催場所	安楽田公民館
対象集落	門前 安楽田
参加者数	11 人
出席議員	班長（廣畑幸子） 司会（清水俊博） 報告（清水俊博） （橋尾哲夫）（藤本一昭）（藤原清勝）（門脇保文）（日原茂樹）
意見発表	（橋尾哲夫）（藤本一昭）（廣畑幸子）
意見まとめ	・ 集落内寺院の維持管理に多くの費用を要します。補助制度の検討要望 ・ 集落所有の土地の管理（特に草刈り）に苦慮している。補助金の支援 ・ 町関連の役職が多くあり、その選出に苦慮する。少なくなるよう要望 ・ 民生児童委員の仕事は忙し過ぎ、その人選に苦慮。考慮してほしい ・ 小野市の教育水準が高い。多可町教育も小野以上の水準に引き上げて。 ・ 少子化の中、中学校をなぜ作らないとだめだったのか。借金で作るということは子や孫に負担をかける。「あすみる」ができているが、駐車場が狭くバス路線はどうするのか。財政面も心配。 - 子どもが元気だと、年寄りや若い人が引っ張られて元気になる。 ・ 「ココミル」もっと子どもが（小学校高学年以上の子どもかな）遊べるようにすべき。 ・ 町全体に企業が少ない。働く場所が少ない。企業誘致すべき。 ・ 図書館の本棚、下の段は低すぎて見えない、すこし工夫がほしい。 ・ 「あすみる」に人が集まるように企画すべき。 ・ 図書館まつり、「お化け屋敷」企画と聞いている。子ども達の交通の便を考えてほしい。例えば小学校発あすみる行きバス等。もちろん往復。「あすみる」で「算数教室」や夏休みの宿題を教えてもらえたりすると更によいのだが。 ・ 少子化は 15～6 年前から言われてはいる。でも子育て世代の取り合い。人口を急に増やすのはむずかしく思う。抜本的な手を早く打たないと。 ・ 廃品回収も来年からできないかもしれない。兎にかく人手が少ない ・ シニアクラブでは楽しい場所づくりで元気アップ広場などしている。月 1 回でもよいので気軽に集まれる場所を考えてはどうか。 ・ お菓子などを持ち寄って、好きなことをする空間づくりは良いと思う。 ・ 耳が聞こえにくくなり、人の集まるところに行っても楽しくない。補聴器の補助制度をもっと浸透させるべきです。

	・村で堤防の草刈りを真夏の７月にしている。１２月には重機を入れてもらい大変楽になっているのだが、真夏の時期に重機を入れてほしいと何度か行政に要望したが、出来ないというばかり。７月は酷暑が続き熱中症等集落での作業は大変危険です。 是非重機をいれるか、堤防の構造を変えるか何とかしてほしい。 ・安楽田にスイスの人に移住してきている。町内の説明をするとき奥さんは日本人なので通訳はしてくれるのだけれど、英語日本語どちらでも書いてあるパンフレットがあるとありがたい。 ・農地を手放す人が増えているが、村としては地域として守りたい。よくわからない人が入ってきて困った使い方をしても困る。地域の人にとってほしいので、買う人への支援の仕組みを作してほしい。 ・いろんなことに単体ではなく三世代の考え方でやってみてはどうだろう。 ・伝統文化の伝承に苦慮している。特に担い手確保が困難に・・・ 安楽田も「多可町の無形民俗文化指定「荒田神楽」を受けているが継続した支援を必要としています。 ・参加者からはこの集落は非常に住みやすく、人との距離が近く安心です 気軽に声をかけあい、助け合いの文化が根付いていますとのこと。 今後の地域づくり、政策立案に貴重な意見と受け止めました。 ・「語る会」このような対話の場を定期的を開催し、住民の思い、課題を把握することが、持続可能な地域社会づくりに多いに寄与します。
その他 特記事項	R427号線歩道において「門前～安楽田～東山間」に関連し、非常に狭隘であり、段差があり、雑草も繁茂しています。歩行者等利用がしにくい為、早急に整備が必要です。 安楽田山浦区長からの要望事項

令和７年５月１３日

多可町議会議長 日原茂樹様

報告者 清水俊博

議員と気軽に語る会 実施報告書

開催日時	令和7年 5月16日（金）19時30分～21時30分
開催場所	鍛冶屋公民館
対象集落	鍛冶屋・間子
参加者数	16人
出席議員	班長（足立吉継）司会（吉田政義）報告（大山由郎） （市位裕文）（廣畑幸子）（藤原清勝）（日原茂樹）
意見発表	（足立吉継）（市位裕文）（大山由郎）
意見まとめ	・ 議会のテレビ放送（一般質問）。質問、答弁ともに下を向いて原稿丸読みで気持ちがこもっていない。最後まで見る気がしない。 ・ 10年後は人がいなくなる。高齢者だけになる。 ・ 子育てするならダントツ多可町の効果は？支援を沢山しているのなら、外にもっと宣伝を。 ・ 村には人はいるのに、敬老会、女性会、子供会も解散。消防団も解散したい意向。民生委員のなり手が無い。 ・ シニアクラブをはじめ、各種団体の存続が難しい。 ・ 道普請、山行きなど10年後には行く人はいない。 ・ もっと町営住宅の活用を検討すべきだ。 ・ 町の活性化のため、大きな商業施設を誘致してはどうか。 ・ 町内には多くの外国人が働いている。もっと多くの外国人に来てもらい、労働力になってもらったら。 ・ 多可高校をもっと魅力のある（特徴のある）学校にしたら。たとえばもっと福祉関係に力を入れたらいい。 ・ 若い女性の活躍の場を、町は力を入れるべきだ。 ・ 新しい高齢者施設は無理だと思うので「あすみる」に高齢者が楽しめる（カラオケ等）施設にしてほしい。 ・ 農業の後継者が欲しい。今のままでは早期衰退の道が待っている。何とかしてほしい。 ・ 交通インフラから取り残された。加西や丹波にはインターがある。工場誘致ができれば人口も増えるはずだ。 ・ 若い家族が住みたいと思うように、町は積極的に支援してほしい。 ・ 使われなくなった（箱もの）施設の跡地活用をしっかりと。

令和 7年 5月19日

多可町議会議員 日原茂樹 様

報告者 大山由郎

議員と気軽に語る会 実施報告書

開催日時	令和 7 年 5 月 19 日（月曜） 19 時 30 分～20 時 30 分
開催場所	奥中公民館
対象集落	高岸・奥中・徳畑
参加者数	16 人
出席議員	班長（藤原清勝） 司会（藤原清勝） 報告（門脇保文） （笹倉政芳）（門脇教蔵） （日原茂樹）（吉田政義）（廣畑幸子）
意見発表	（門脇保文）（笹倉政芳）（門脇教蔵）
意見まとめ	・ 小学校の統廃合についてはどうなっているのか。・ 中学校の統廃合の跡地対策はどうなっているのか。 ・ 大学を卒業しても働く場所がない。 ・ 広域で企業誘致や町づくり等について考える。 ・ 余暇村公園の遊具の管理体制はどうなっているのか。定期的にメンテナンスを行っているのか。コテージの活用はどうなっているのか。施設のバリアフリーが行き届いていないのでは無いか。見直すべきである。 ・ バスケットボールは町外の人利用が多いために予約が取れない。町内の住民を優先するように。また、キャンセル料は取っているのか。 ・ 町外から来られる方が多いので（お金を落としてもらえる工夫）。 ・ 田圃の後継者問題についても広域で考えていくべきだ。 ・ 中区に公共施設が多すぎるのではないか。 ・ 人口減少のために公共下水を減らし、個別槽に変えていくべきである。 ・ シニアクラブを存続したいが、今は休会している。高齢化による共生社会の必要性を感じるが、実態は中々難しい。何かきっかけが欲しい。 ・ 農業を通じた集落の活性化。営農組合 32 人で構成されている。非農家も巻き込んで楽しい農業で村を元気にしたい。町も協力してほしい。 ・ JA がやるライスセンターに期待しているが、いつできるのか。これも地域の活性化につながる。 ・ 山田錦の等級の基準があいまい。生産地区によって等級が決められているように思うので産業振興課の見解が聞きたい。 ・ 道路整備で多可町を活性化すべき。国道 175 号バイパスを多可町に引き込んでほしい。また、やすらぎ苑付近までトンネルを通す。そうすることで、交通の便が一気に良くなる。 ・ 多可町の知名度をもっと上げる施策を打つべき。播州の奥座敷を魅力的

	に発信してほしい。 ・ 昨年の語る会で、焼却炉ができる説明の時に、灰を加工して草が生えない肥料を作ると説明を受けたが、その後どうなったか。埼玉県で実施されている。出来れば高齢者も増えているので助かる。 ・ 焼却炉で加古川は有機物を利用して、肥料を作り売られている。熱を利用して何かできないか。 ・ 子供の通学路（歩道、自転車道）につるが巻き付いて非常に危険である。早く処理して頂きたい。 ・ 空き家問題、後継者がいないので先が不安である。 ・ 多可町に観光施設はあるのか。天神地区・安楽田地区では姫ほたるが多く飛び、多くの人々が来られている。多可町にも色々な所も多くある、観光できる場所のもっと掘り起こしをすべきである。 ・ 街灯を LED に交換すべきである。 ・ 加西・多可町でサイクリングコースを設定し、観光 PR すべきではないか。加美町にカレー屋がある。サイクリングメンバーが多くこられている。 ・ マイスターは多くの集客がある。寿しを買ってすぐ帰られる。マイスターを拠点に加美区、中区、の観光地看板とか標識とか、全体に案内看板が少ない。 ・ 多可高校をもっと発展させるべきである。未来を創る学科を設置し、他町からも生徒が来て頂けるようにすべきである。県に働きかけを。 ・ 多可町は PR が非常に下手である。新聞にも滅多に掲載されない。もっとマスコミを上手に使うべきではないか。多可町には女性の方でインスタをされている方が多く居られる。もっと利用して町の PR をお願いすべきではないか。 ・ 多可町には指導主事が一人しかいない。一人では限界があるのではないか。二人にすべきでは。 ・ 大型事業ばかりするのではなく、今こそソフト事業に力を入れるべきではないか。
--	--

令和 7年 5月 20日

多可町議会議長 日 原 茂 樹 様

報告者 門 脇 保 文

議員と気軽に語る会 実施報告書

開催日時	令和7年5月20日（火） 19時30分～20時30分
開催場所	アスパル
対象集落	天田・岸上
参加者数	5人
出席議員	班長（廣畑幸子） 司会（清水俊博） 報告（清水俊博） （藤本一昭）（橋尾哲夫）（吉田政義）（門脇保文）（日原茂樹）
意見発表	（廣畑幸子）（藤本一昭）（橋尾哲夫）
意見まとめ	・ 大型プロジェクトも「あすみる」のサービス開始をはじめ、順次進行している。しかし資金調達をはじめ、完成後の資金返済等、次の世代への負担が発生し、多可町の財政を圧迫するところは必至。大丈夫なのか。非常に心配している。議員も理解しているのか財源等の説明を求める。 ・ 多可町に産業が乏しく若者が働く場所が少ない。空き公共施設等の企業への貸与等有効活用を図り、稼げる場を作るべきです。 ・ 議会議員も単独でなく「会派」をつくり住民自線で行政へ提案するべき。 ・ 転入者、外国籍の人等々集落内でも社会変化が起きている。慣習等昭和時代の考え方が通用しなくなっており、我々住民もそれらに併せて、変化を余儀なくされています。規約の理解等大事であり大変だ。 ・ 空き家対策において、転入者される人に対し、事前に当該集落のシキタリ、規則、慣習を納得のうえ転入されるよう、十分な事前説明を求める。 ・ 私の自治体でも限界集落になりつつあります。 ・ 産業誘致に力を入れて、税制等優遇措置も設け立地しやすいようすべき。 ・ 古民家の利活用は県下 NO.1 だ。但し若人が来ない。原因分析すべき。

令和7年5月20日

多可町議会議長 日原茂樹様

報告者 清水俊博

議員と気軽に語る会 実施報告書

開催日時	令和 7 年 5 月 23 日（金）19 時 30 分～21 時 30 分
開催場所	中村町コミュニティセンター
対象集落	茂利・中村町
参加者数	9 人
出席議員	班長（足立吉継） 司会（吉田政義） 報告（大山由郎） （市位裕文）（廣畑幸子）（藤原清勝）（門脇保文） （日原茂樹）
意見発表	（市位裕文）（大山由郎）
意見まとめ	・丹波市春日町は移住者が多い。多可町はどうか。古民家の利活用（店舗）等で多可町のアピールを。 ・若者の流出が増えている。移住者には手厚い補助があるが、町に住む若者には無いからだ。 ・神戸から多可町まで時間がかかりすぎる。東京と神戸は飛行機で一時間なのに。 ・若者の流出防止を。人口が減ると元気な町なんか無理。交通インフラ（175 号とのバイパスが鍵）。大胆な発想を。 ・子育て支援の件だが、近隣の町は給食の無償化など目立つ支援がある。多可町の子育て支援は他の自治体に比べ特徴が無い。多くの支援をしているのにアピールが下手、もっと発信を。 ・町を全国に向けて発信するには、町職員だけでは限界があるのではない。専門家に委託する方法もあるのでは。 ・多可町のふるさと納税の件（たかテレビのキャスター）のような個性的な取り組みをもっと増やすべきだ。あれはよかった。 ・町内にはたくさん企業がある。もっと若者に知ってもらえる手立てを。特に、若い女性が町に魅力を感じていない。（働く場所が少ない等）。 ・集落の祭りには県外に出ている若者が沢山帰ってきて盛り上がる。しかし、祭り（伝統文化）の維持が難しい。町独自の補助金を考えるべき。 ・県外に出でいる人との繋がりを無くさない方法を考えること。SNS などの活用を。 ・長男一家が尼崎から帰ってきた。理由は子育てがしやすいからだ。しかし職場が元のままだ、もう少し通勤が便利になったらいいのに。 ・企業の誘致に力点を置くべきだ。そうすれば若者の流出を防げる。 ・消防団の件だが、操法大会はやめるほうがいい。団員の仕事場が遠いの

	で夜の練習は無理だ。団員への報酬も少ない。
--	-----------------------

令和 7年 5月27日

多可町議会議長 日原茂樹様

報告者 大山由郎

議員と気軽に語る会 実施報告書

開催日時	令和 7 年 5 月 26 日（月） 19 時 30 分～20 時 30 分
開催場所	曾我井公民館
対象集落	坂本・曾我井
参加者数	12 人
出席議員	班長（藤原清勝） 司会（笹倉政芳） 報告（門脇保文） （笹倉政芳）（門脇教蔵）（日原茂樹）（吉田政義）（廣畑幸子）
意見発表	（門脇保文）（笹倉政芳）（門脇教蔵）
意見まとめ	・人口減、産業が無い。農業の後継者問題について企業と地域連携しながら考えていく。 ・急激な子どもの減少のために通学路の問題をどうするのか。 ・観光地として何かできないか。 ・子どもの病院や、買い物、選ぶ高校（多可高校が廃校になるのでは）へ行きたいが、交通の手段が無い不便さを何とかしてほしい。 ・女性の働くところが少ない。だから町から出ていく。 ・多可町の財政力は低い。厳しい感じがする。 ・黒田庄に酒蔵があるが活用できないか。 ・加西市に工業団地ができるが、多可町にはできないのか。ベッドタウンもいいではないか。広域で考えるべきではないか。 ・田井鉄工には外国人の労働者が多い。地元の人に入ってほしい要望がある。 ・多可町の名所や特産を活用し、企業と連携しながら宿泊施設を建築してはどうか。そのためにもインフラを整備しなければならないのではないかな。 ・交通機関の充実：タクシー券を使いたいときに使えるように近隣市町と広域連携は取れないか。 ・年金を上げてもらわなければ食べていけない。特に国民年金から介護保険を引かれると月 4 万円ぐらいしか使えない。 ・空き施設の有効活用：特に、加美中学校や八千代中学校の跡地活用事業を積極的に進めなければ地域が衰退する。 ・安定した収入と住むところがなければ、大学を出た人達は帰ってこない。一流企業の誘致をするべき。 ・空き家の利活用の促進：曾我井では約 1 割の空き家がある。管理されなくなる前に空き家バンクに登録するとよいが、その情報が乏しいと思

	う。 ・子育て支援策のさらなる情報発信を。子育てするなら多可町はよく耳にするが、どんな支援があるのか、分かりにくい。あったかナビ等情報発信の工夫を積極的にするべき。 ・学校・病院選べる環境。地方の停滞や衰退は、その地域の住みづらさが関係していると思う。生活に必要な施設が無かったり、その数が少なかったりして、他の地域へ移住を余儀なくされる人もいるのではないか。多可町には子どもを産む病院、医者もない。すると西脇市又は他市まで行かなければならない。その結果、都市部などに移住する人が増えているのだと思う。このような状況を改善するには、その地域の住民が様々な選択肢のある生活を送れるような体制を整える必要がある。医療関係を増やしたり、バラエティー豊かな娯楽施設を造ったりすることが地域の活性化に繋がる。 ・長野県松本市にある共学校生徒数 970 人。教室や廊下に新聞 8 紙を置き生徒が自由に読み比べてもらえるようにされている。
--	---

令和 7 年 6 月 2 日

多可町議会議長 日 原 茂 樹 様

報告者 門脇 保文

議員と気軽に語る会 実施報告書

開催日時	令和7年5月29日（木） 19時30分～20時30分
開催場所	グリーンプラザ
対象集落	安坂・糺屋
参加者数	7人
出席議員	班長（廣畑幸子） 司会（藤本一昭） 報告（藤本一昭） （清水俊博）（橋尾哲夫）（門脇保文）（日原茂樹）
意見発表	（藤本一昭）
意見まとめ	1. 子育て支援と教育環境の整備 ・子育て世代からは、教育費や出産時の費用負担が家計を圧迫しているとの声上がり、「出産祝い金」や「教育費補助制度」など、より実効性のある経済支援の導入を望む意見があった。 ・子どもの数が減少する中であっても、将来の地域の担い手を育てる観点から、教育環境への継続的な投資（学校施設の整備や ICT 機器の充実など）の必要性が強調された。 ・中学校再編に伴う通学負担を懸念する声も多く、スクールバスや定期路線バスの柔軟な運用によって通学時間や安全性を確保すべきとの提言が見られた。 2. 高齢者福祉と健康寿命の延伸 ・「住み慣れた地域で最期まで暮らしたい」という思いに寄り添い、認知症高齢者も安心して自宅で暮らせる支援体制（見守り、在宅介護、地域支援員制度など）の強化が求められた。 ・高齢者が元気に社会と関わりながら生きがいを持てる町づくりが重要であり、趣味活動や地域イベントの充実、公共交通の利便性向上など多方面からの支援が必要との意見が寄せられた。 ・健康寿命の延伸を町の重点政策とし、予防医療や介護予防プログラムを地域ぐるみで推進すべきとの声もあった。 3. 人口減少・移住定住対策 ・若者や子育て世代の定住促進には、教育・福祉に加え、交通・通信インフラの整備や利便性の高い住宅環境の確保が不可欠とされた。 ・空き家の増加に対し、古民家リノベーション支援や空き家バンクの機能強化など、町の特色を生かした柔軟な定住施策の展開が求められた。 ・他地域からの移住者への支援体制として、地元住民との橋渡し役となる「地域サポーター」の配置や地域ルールの事前説明が重要であるという

	意見も見られた。 4. 地域間格差と集落の持続性 ・地区ごとに集落規模や高齢化率、担い手の有無に大きな差がある現実が共有され、画一的な施策では対応できないとの認識が広まっている。 ・地域活動（祭り、清掃、民生委員など）の継続が難しくなっているとの声も多く、町として中山間地や小規模集落の持続的運営に対する個別支援や制度的工夫を望む意見があった。 ・「支え合いの仕組みづくり」や「地域担当職員制」のようなきめ細かな対応が必要だとの指摘もあった。 5. 交流人口の増加と観光振興 ・道の駅や自然公園、ウォーキングイベントなどの地域資源を活用した取り組みが評価され、継続的に交流人口を呼び込むための広報強化とイベントの多様化が求められた。 ・多可町公式 YouTube チャンネル」など SNS を活用した町の魅力発信についても、他自治体に比べ先進的な取り組みであるとされ、今後さらに住民参加型で情報発信力を高めていくべきとの提案があった。 ・紅葉ダムなど未活用の観光資源についても再整備や利活用により、新たな交流創出の可能性を広げるべきとの意見があった。 6. インフラ整備と定住環境の向上 ・高速道路の整備や工業団地造成による企業誘致と雇用創出は、若者や移住者の定住促進に直結する重要施策として期待が寄せられた。 ・上下水道などの基本インフラが整っていない地域の課題にも触れられ、生活基盤の整備が町全体の魅力向上には不可欠との意見が出された。 ・町の DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進に対する評価もあり、今後は AI やデジタル技術を活用した住民サービスの質的向上への展開を希望する声が上がった。
--	--

令和 7年 6月 3日

多可町議会議長 日 原 茂 樹 様

報告者 藤本 一昭

議員と気軽に語る会 実施報告書

開催日時	令和 7 年 5 月 3 0 日（金）19 時 30 分～21 時 30 分
開催場所	西安田公民館
対象集落	森本・西安田
参加者数	14 人
出席議員	班長（足立吉継） 司会（藤原清勝） 報告（大山由郎） （市位裕文）（廣畑幸子）（門脇教蔵）（門脇保文）（日原茂樹）
意見発表	（市位裕文）（足立吉継）（大山由郎）
意見まとめ	☆村づくり等 ・若い人が減っている（出生の低下）。行事や村運営（まつりなど）が難しくなっている。 ・高齢者層が多いのは悪くないが、主体となる若い人がいない。 ・役員で一番若い人は 58 歳。 ・「役員になりたくない」「村づきあいが難しい」と若い人が出ていく場合もある。 ・個々の負担が多い（道普請など）。 （農業等） ・田んぼを守るのが苦になっている。5 年後 10 年後はどうなるのか。 ・町としてどうするのか。ビジョンは？ ・農業用地に家を建てられないか。農地転用手続きも大変だし二年も待てない。 ・営農組合は後継者の問題もあり、この先が心配だ。 ・今、米不足が問題になっているが、町内の米作り農家に対して町独自の補助金などを考えてはどうか。 ☆移住・空き家等 ・空き家っぽい家が増えてきている。 ・役場の対応が悪く、移住者が出て行ってしまうと聞いているが？ ・移住者への待遇はいいと聞いているが、今住んでいる住民へしっかりした対応も大切だ。 ☆シニアクラブ等 ・「敬老の日」発祥の地と謳うなら、助成金を毎年 20 万円ぐらい出すべきだ。 ・多可町シニアクラブ連合会からの脱退や解散をせず、頑張っているクラブに町から援助すべき。

	・ 会員が多いと損をするような会費徴収などのやり方は変えるべきだ。 ・ 解散・脱退が増えているが、その原因をよく考えるべき。＋アルファが必要。魅力がない。 ・ （若い人からは）今の村運営などでいっぱいいっぱいなのに、シニアクラブ入会時のことまで考えられない。 ☆若者の働く場所等 ・ 町内に企業はたくさんあるが、働きたいと思う場所がない。 ・ 働く人の住居の問題。空き家、町営住宅を活用してはどうか。 ☆その他 ・ 十数年前に描いていた老後のゆったりとした生活がしたい。 ・ 年金が減って安心して暮らせない。 ・ 峠を越えて危ない運転でグラウンドゴルフに行かなければならない。 ・ すべての年代に平等が理想だが、それは財政的に難しい。せめて子どもや高齢者に支援をしてあげてほしい。 ・ 多可町の特徴を生かして「草刈選手権」をしてみてもいいかも。
--	---

令和 7年 6月 4日

多可町議会議長 日 原 茂 樹 様

報告者 大 山 由 郎

議員と気軽に語る会 実施報告書

開催日時	令和7年6月2日（月）19時30分～20時30分
開催場所	鳥羽公民館
対象集落	山寄上・鳥羽・清水
参加者数	10人
出席議員	班長（藤原清勝） 司会（藤原清勝） 報告（門脇保文） （笹倉政芳）（門脇教蔵）（日原茂樹）（足立吉継）（廣畑幸子）
意見発表	（門脇保文）（笹倉政芳）（門脇教蔵）
意見まとめ	・ 少子高齢が進み、農業、林業、草刈り等運営が成り立たなくなっている。 ・ 子どもを増やす対策をお願いしたい。 ・ 集落の役員が変わることなく、高齢者が維持しているが、やがて維持できなくなり、若いものにすべての事がのし掛かり犠牲になっていく。 ・ 今のうちに、風習を変え「出来る事・出来ない事」を皆で決めていかないとすべての事は出来なくなる。 ・ 30年後には、集落が合併しなくてはならないようになる。 ・ どこに行くにも遠すぎる。交通手段が問題だ。そのために出て行ってしまう。 ・ 農業も兼業農家であるために、自分の所の分だけしか作らない。共同農業をしているのは刈り取る作業だけである。農協への供出米はない。 ・ 鳥羽には移住者が多い。個々の環境が良いから、移住者が宣伝してくれている。 ・ 多可町の源流であるために、お米や、農産物が新鮮である。杉原紙や道の駅、きれいな水、空気を活用し、企業とタイアップしてリゾート開発をすれば若い人も村から出ることなく住んでくれるのではないかな。 ・ 若い人の意見を取り上げてくれるような組織が欲しい。 ・ 小学校の在り方に町の将来の方針を示してほしい。複式学級でも残すことはないのか。学校が遠くなると通学が大変だ。 ・ 人口減少対策として、安定した収入がある仕事の確保が必要である。そのためには、積極的な企業誘致に向けた取り組みを進めるべき。公共施設の跡地活用として住宅を整備することも考えては。 ・ 地域の特性を生かし観光を促進すべき。青玉神社、杉原紙研究所、道の駅、三国公園キャンプ場など、この地域には人を呼び込む舞台はある。加えて周辺の山林をうまく活用することで、事前と共生できる体験型観光が考えられる。地域挙げて応援できる体制がある。

	・多可町で雪が一番多く積もる地域で、毎年国道や県道の交通の妨げになっている。もっと早い除雪作業に努めてもらいたい。村の中の消防団にお世話になっているが、雪かきの機材製作費ぐらいは町でお願いしたい。 ・毎年集落要望を提出しているが、一向に採用されない。予算配分が少ないのではないかと。当初予算審議で事業費の拡充をお願いしたい。
--	---

令和7年6月4日

多可町議会議長 日 原 茂 樹 様

報告者 門 脇 保 文